

経済産業省「未来の教室」実証事業における 株式会社 Alumnote との合同プロジェクトについて

高校教育課
学びの改革支援課

1 「未来の教室」実証事業について

学び手自身が自らの学びを設計していく未来の学び（「未来の教室」）を実現するため、経済産業省が2018年度から全国の学校などと進めている実証事業。

2 プロジェクト概要

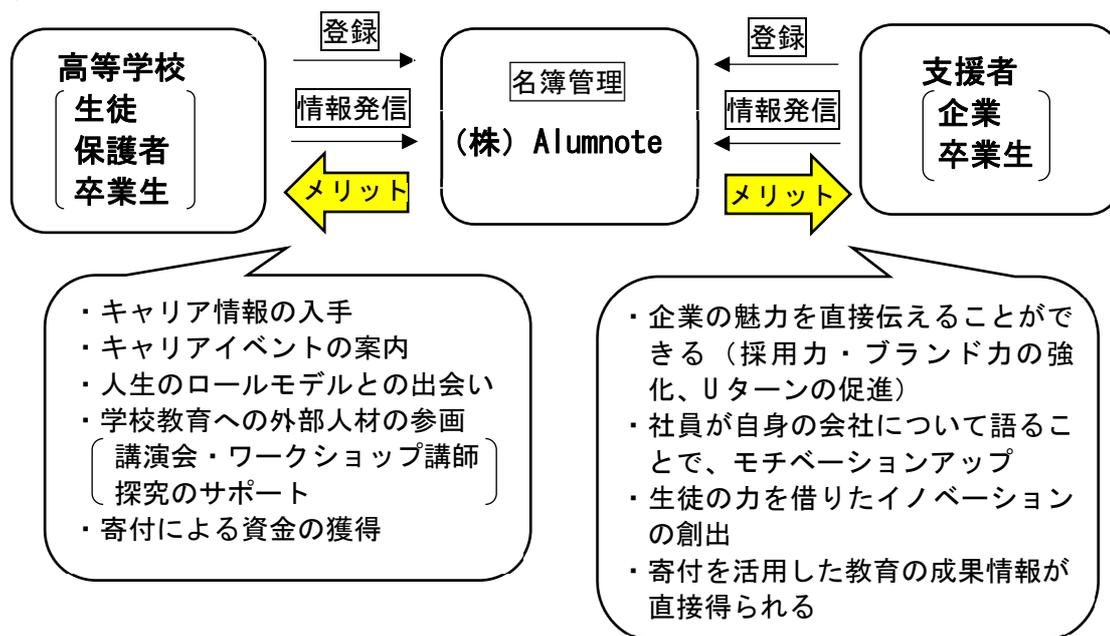
今年度、株式会社Alumnoteによる「教育支援コミュニティのデータベース化及びその活用と多様な伴走者の学校参画促進に関する実証事業」が採択され、長野県教育委員会が同社とともに取り組むこととなった。

株式会社 Alumnote が名簿管理システムを提供し、

- ・高等学校（生徒）と企業等の外部人材とをつなぎ、外部人材の学校参画を促進
- ・支援者（企業、卒業生等）から学校への寄付により、生徒の学びの充実や保護者負担の軽減につながる仕組みを構築
- ・県外進学者に対して県内企業の就職情報等を発信し、Uターンを促進

など、生徒や学校、企業等の双方にメリットがある形で持続的な事業展開を目指す。

<事業のイメージ>



<今後のスケジュール>

令和5年9月 学校向けオンライン説明会

10月 生徒・保護者向けオンライン説明会、登録開始

11月 ~運用開始

令和6年2月 実証事業としては終了、その後もシステムの持続的な運用を行う

3 株式会社 Alumnote について

教育関係者・支援者の情報管理を核とした統合型システムの開発、寄付募集を中心とした実務経験を提供している東大発ベンチャー企業。現在、国立大学を中心に名簿管理システムを提供する事業を展開。システムの活用による寄付文化の醸成、それに伴う教育機関の財源確保の実現を目標としている。